

⑦ 市民参画の状況

【総合計画策定にかかる市民参画の取組】

**中学生ワークショップ
みんなのまち吹田
～ミニ総合計画をつくろう～中学生会議**
平成28年7月
《対象》市内中学生 16人
《内容》本市の将来像についてのグループディスカッション、発表



高校生アンケート
平成28年7月
《対象》市内高等学校2学年 631人
(回答者数 613人)
《内容》本市のイメージや印象、満足度などに関する調査

大学生による政策研究
平成28年8月～10月
《協力団体/テーマ》
・大阪大学公共政策研究会
「吹田市における市民自治の推進について」
・関西大学政治学研究部
「地方自治体とNPOと大学の連携で学生確保を目指せ!」
《内容》市民ワークショップにて政策研究発表



**市民ワークショップ(平成28年度)
「吹田の魅力を再深発見!～すいたマニアになろう～」**
平成28年9月～10月(全6回)
《参加人数》延べ144人
《内容》本市の魅力の再認識・再発見をテーマに、地域資源に関するゲスト講演や大学生による研究発表、参加者による意見交換



市民団体リレーインタビュー
平成28年11月～平成29年3月
《協力団体》市民団体12団体
《内容》市民団体の活動状況や課題、まちづくりに関するインタビュー(リレー形式)

**市民ワークショップ(平成29年度)
「みんなで考えよう! 吹田の未来」**
平成29年5月(全2回)
《参加人数》延べ88人
《内容》10年後に実現したいことや、今後の市民・行政の取組など、吹田の未来をテーマに、ゲスト講演、参加者による意見交換



市民意見募集
平成29年7月14日～8月14日
《対象》基本構想(素案)・基本計画(素案)
《提出件数》69件(22通)
平成30年2月1日～22日
《対象》基本計画(素案)「基本計画推進のために」
《提出件数》9件(5通)

パブリックコメント
平成30年6月11日～7月10日
《対象》基本構想(素案)・基本計画(素案)
《提出件数》87件(5通)

市民説明会
平成29年8月4日～8日(全6か所)
《参加人数》延べ88人
《内容》基本構想(素案)及び基本計画(素案)の内容や検討状況の説明、参加者から意見聴取

【市民参画の取組による主な御意見】

《市民が思うまちの魅力》

- ・活発で幅広い世代の市民活動がみられる
- ・ヒメボタルなど多様な生物が生息している
- ・都市とみどりのバランスがいい
- ・歴史や文化に触れられる環境
- ・市立吹田サッカースタジアムや太陽の塔などの名所がある
- ・市民の吹田への愛郷心、地域を愛する気持ちが強い
- ・大学の公開講座など生涯学習環境が充実している
- ・公園などのみどりが多い
- ・優れた交通利便性
- ・大学が多く、学生のエネルギーにあふれている

《市民が思うまちの課題》

【大綱1】人権・市民自治

- ・ジェンダーフリーのまちの実現
- ・幅広い世代の自主性・活力による地域活動の活性化が必要
- ・市民、学生、NPOとの連携が必要

【大綱2】防災・防犯

- ・どんな自然災害にも強いまちの実現
- ・自治会などによる地域防災力の強化が必要
- ・防災・減災のための訓練などの備えが必要
- ・監視カメラがいらない安全なまちの実現

【大綱3】福祉・健康

- ・認知症になっても安心なまちの実現
- ・老後も安心して暮らせる住まい環境の整備
- ・障がいに対する柔軟な支援体制の実現
- ・民生委員の活動範囲を拡大するなど、地域特性を生かしたサポート体制の実現

【大綱4】子育て・学び

- ・子育てが楽しいまちの実現
- ・待機児童の解消
- ・児童虐待を察知できる地域の実現
- ・いじめのない学校の実現
- ・栄養バランスのいい給食

【大綱5】環境

- ・自然エネルギーの活用
- ・ごみがきちんと始末されているまちの維持
- ・人にも自然にもやさしいまちの実現
- ・公害がないまちの実現
- ・市民が親しめる里山の保全

【大綱6】都市形成

- ・景観を維持する市民の活動が必要
- ・都市とみどりのバランスの維持
- ・野球やサッカーができる公園が必要
- ・自転車専用道路の整備が必要
- ・東西の交通利便性の向上が必要

【大綱7】都市魅力

- ・失業率が低いまちの実現
- ・音楽やスポーツなど活動できる場の充実
- ・10年後も住んでいたいまちの実現
- ・全ての世代が住みやすいまちの実現
- ・積極的な魅力の発信、アピールが必要

【大綱8】行政経営

- ・縦割りではない関係機関のつながりの強化を図るべき
- ・既存施設の効果的な活用が必要
- ・50年後のインフラの寿命を考えた計画が必要